



平成 18 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 大同メタル工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 判治 誠吾
(コード番号 7245 東証・名証第1部)
問合せ先 執行役員総務センターチーフ 玉谷 昌明
(TEL. 052-205-1401)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 7 月 20 日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の中間期および通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期中間業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

(1) 連結

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 18 年 7 月 20 日発表)	30,800	360	320	△300
今回修正予想(B)	31,100	1,100	1,150	120
増減額(B-A)	300	740	830	420
増減率(%)	1.0	205.6	259.4	—
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 3 月期中間)	27,196	2,088	2,128	1,394

(2) 個別

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 18 年 7 月 20 日発表)	24,200	1,150	1,250	640
今回修正予想(B)	24,200	1,800	2,200	1,250
増減額(B-A)	—	650	950	610
増減率(%)	—	56.5	76.0	95.3
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 3 月期中間)	23,509	2,127	2,292	786

2. 平成19年3月期通期業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(1) 連結

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年7月20日発表)	62,800	1,080	790	△680
今回修正予想(B)	63,200	2,200	2,000	10
増減額(B-A)	400	1,120	1,210	690
増減率(%)	0.6	103.7	153.2	—
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	57,700	3,343	3,586	1,310

(2) 個別

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年7月20日発表)	49,600	2,850	2,750	1,540
今回修正予想(B)	50,100	3,950	4,100	2,400
増減額(B-A)	500	1,100	1,350	860
増減率(%)	1.0	38.6	49.1	55.8
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	47,789	3,915	3,995	1,416

3. 修正の理由

- (1) 平成19年3月期中間期業績で、個別業績見込みが大幅増益となる見通しであることによるものであります。
個別業績見通しの大幅増益要因の主な項目としましては、①製品価格是正、②物流コスト削減、③経費の見直し削減、④生産合理化などの効果に加え、営業外損益の利益増によるものであり、これは全社あげての利益対策・収益改善に取り組んだことが、大きな成果をあげたものであります。
- (2) 同 中間期の連結業績見通しは、主には個別の業績によるものであります。
- (3) 同 通期業績の個別見通しは、下期は上期に比し、売上の増加見込みでの増収効果が期待出来ます。一方、材料費を始めとした費用増加の発生も見込まれますが、増収効果が大きいこと、生産合理化、物流コスト削減など、利益対策・収益改善の継続実施により、通期業績予想も大幅増益を見込んでおります。
- (4) 同 通期業績予想の連結見通しは、中間期と同様、主には個別の増益要因によりますが、大同メタルチェコ(DMC)の操業は既に折込済みであり、中間期の子会社状況と大きな変化はないものと予想しております。
これにより、当期純利益においても黒字が見込まれます。
- (5) 平成18年7月20日の業績修正の原因となった米国100%子会社大同メタルベルフォンテン(DMB)は、計画どおり推移しております。

以 上

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な数字に基づき当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要因が内在しており、実際の業績はこれらの予想値と異なる場合がありますことをご承知おきください。